

第19回

製品回収(リコール)について

近頃のリコール!

皆さんは、リコールと言え
ば自動車を思い起こされる
ことが多くありませんか?

実は、私たちの日常生活の
中には、リコールされる製品
がたくさんあります。

たとえば、某メーカーがF
F式ストーブの回収を呼びか
けていたのもその一つです。

一酸化炭素中毒による、死亡
事故が発生し、緊急にリコー
ルをしました。

リコールは、電子レンジな
どの台所用品、あるいは、子
供の衛生用品や玩具、さらに
食品などさまざまです。

毎朝、ポストに届く新聞で
の社告やテレビ報道、また、
消費者庁のホームページでは
数年前からの情報も併せて検
索が可能です。

自分には、関係ないと思っ

ていても意外と家にあつたと
いう事があります。一度、身
の周りの製品を点検してみま
しょう。もしも、リコールに
該当する製品が見つかった場
合には、消費者センターや、
近くのくらしのクリエーター
さんに連絡下さい。

事故が起こる可能性があり
ますので、安全のために製品
回収に出しましょう。

回収に出しましょう。



消費生活相談窓口

市役所市民課

(☎ 662-3163)

お知らせ

たじま消費者ホットライン
が、4月19日からスタートし
ました。養父市消費者生活セ
ンターにも相談専用ダイヤル
を設置し、皆さまの相談に対
応します。

◆養父市消費者生活センター
相談専用ダイヤル(☎079-
662-3170)

たじま消費者ホットライン

(☎ 0796-23-1999)

受付時間は

(午前9時~午後4時30分)

まちの文化財 67

「齋神社本殿」の

修理見学会



解体修理部材の説明を聞く参加者

ました。

再建するためには設計図が必要
です。倒壊した本殿には建築
図面がありません。このため解
体しながら部材の寸法を計測し、
平面図や断面図などの修理図面
を作成して構造を説明しました。
本殿は昭和12年の建築で、規
模は、正面240寸、側面22
0寸、高さ810寸、だと判明し
ました。解体した部材は、約3、
000点になります。特徴は、
建物を豪華に飾るために屋根が
最大限に大形化していること
です。材料はケヤキが中心で、一
部にイチヨウやヒノキが使われ
ていました。

4月18日(日)、齋神社復興
委員会の主催により、本殿の解
体修理部材見学会が、旧建屋小
学校体育館で開催され、約12
0人が見学に訪れました。
本殿のある境内は、昨年8月
10日の台風9号の土石流によっ
て全壊しました。現在、本殿復
興にむけて解体修理工事を実施
中です。工事は日本伝統建築技
術保存会所属の専門会社が実施
しています。
本殿は、全体が元の位置から
9センチ押し流されていました。
土砂で埋まっていた部材を掘り
出し、1本づつ丁寧に解体し、
倒壊したすべての部材を救出し

また豪華に作られた彫刻は、
姫路市飾磨区の三代目松本義廣
の作品であることが分かりまし
た。祭祀で使う屋台彫刻の専門
家で、名工と言われた人物です。
素戔鳴尊すさのおのりの八岐大蛇退治や
天照大神あまのひかりによる天の岩戸の
場面、龍や麒麟など多数の彫刻
がありました。
齋神社本殿は、破損した部材
を修理し、すべて元通りに組み
上げて保存修復する計画です。
総工費は約1億円といえます。
台風災害からの復興、これか
らが本番となります。

(教育委員会社会教育課)

「健康」 ワンポイント アドバイス



保健師
高見真紀

元気な赤ちゃんを産むために

女性の生活スタイルの変化に伴い出生数が減少していますが、逆に早産により小さく生まれる赤ちゃんが増えてきています。妊婦さんが大切にお腹の子の命を育てていても、早産のリスクを高める原因は多く存在します。

周囲の方々の配慮について紹介します。

- ① **たばこの煙に注意**
早産の原因の一つにたばこが挙げられます。たばこの煙で妊婦の血管が収縮し、胎盤から赤ちゃんに十分な栄養が届かなくなるのです。妊婦自身の喫煙だけでなく、周りの人の出す煙にも注意が必要です。妊婦さんの周りでは決してたばこを吸わないようにしましょう。



- ② **1日3食、バランスよく食**
【お問い合わせ先】
市役所健康課
(☎662-13167)
- ③ **過労、ストレスに注意**
妊婦さんがリラックスして過ごせるように、家事を分担するなど周りが協力することも大切です。
- ④ **口の清潔を保ちましょう**
歯周病菌が子宮を収縮させたり胎児の成長に影響し早産をひきおこすと言われていきます。妊娠中は歯周病にかかりやすいので特に注意が必要です。

べましよう。

若い女性を中心にやせ志向が高まっていますが、お腹の赤ちゃんが健やかに成長するために十分な栄養が必要です。

こんにちは、地域包括支援センターです



地域巡回型 「元気のコツ」(骨)教室

お誘い合わせのうえご参加下さい。

【元気のコツ教室の内容は】

- ◎みなさんご存知ですか「健康寿命」って!
- ◎養父市の要介護原因をふまえた健康づくり
- ◎元気のコツについて
- ◎いつからでも!どこでもできる!転倒予防体操

昨年度は「認知症サポーター教室」を市内全行政区で開催し、区長さん、老人クラブ会長さん、民生委員さんをはじめ多くのみなさんご協力のもと2,586人の方に参加いただきました。

養父市地域包括支援センターでは、4月から12月にかけて地域巡回型「元気のコツ」(骨)教室を開催します。

いつまでも元気に住み慣れた地域で暮らすために必要な「元気のコツ」をテーマに地域包括支援センター職員と県立但馬長寿の郷スタッフが各地域を訪問します。

【お問い合わせ先】

市役所介護保険課
地域包括支援センター
(☎662-7603)

教室の開催予定については、区長会や民生委員会などで連絡させていただき、各区には開催1ヶ月前に区長さんを通じてお知らせしますので、ご近所の方